

施策評価表

京都市南丹市
作成日：平成22年7月13日

平成22年度(平成21年度実施)

評価施策名	1 豊かな緑と清流を守る	施策CD	21	施策主管部	農林商工部	部長名	神田 衛
政策名	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る			施策関係部	企画管理部・市民部・土木建築部・教育委員会・八木支所・美山支所		

【施策の概要】

1 南丹市が考える理想(目的)

目標項目(成果)	単位	H20	H21		H22	H23	H24
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
河川の水質の向上		別記のとおり					
森林ボランティア数	団体	8	8	7	9	9	10

○ 希少生物が生息できる環境を保全する。
○ 農地を保全する。
○ 景観を保全する。

1 南丹市の現状(課題)

○ 南丹市には「森・里・街」それぞれに異なる美しい景観がある。
○ 森林面積は約54,300haで、総面積の88%を占めているが、荒廃が見られる。
○ 桂川と由良川の清流とホテルなどの貴重な生態は市の誇りとなっている。
○ 近年は、河川の生態系が変化している。
○ 耕作放棄地の増加や農村環境の悪化が懸念される。
○ 山林などへの不法投棄や道路・河川へのごみのポイ捨てがある。
○ 日本の原風景が残る美山地域のかやぶき民家群の保存を進めなければならない。

(現状)	越方橋	大堰橋	出合橋	和泉大橋
・河川の水質 pH	6.2~6.9	6.0~6.7	6.0~7.3	6.0~7.4
(平成17年)BOD	1.0	1.2	0.8	0.9
SS	6	4	1	1

・景観保全のためのルール制定 未制定(平成19年)

2 対策をしなければどうなるのか

○ 美しい景観、環境が壊れる。
○ 生態系の保存、水源のかん養、CO2の吸収等の森林の持つ機能が低下する。
○ 河川の水質悪化や外来魚の食害により、生態系が破壊される。
○ 耕作放棄地の増加により農村環境が悪化し、農地の多面的機能が低下する。
○ 景観の悪化は、来訪者の減少を招き、地域経済への悪影響も推測される。

3 それは何故おきたのか

○ 林業労働者の減少と高齢化などに伴う労働力の低下による。
○ 林業生産が減少していることに加えて野生鳥獣や病虫害などによる被害もある。
○ 鳥類や外来魚による在来魚の食害が増加している。
○ 農業後継者の不足、集落の過疎化や高齢化などが進行している。
○ 環境美化に対するモラルが低下している。

4 それらを解決するために何をするのか

①豊かな森林を維持する。
・林業振興のための支援策の実施、森林保全活動に対する支援など
②河川の環境を守る。
・水質や生物の調査、ダム湖周辺の環境保全活動、河川浄化などの環境整備など
③環境美化を進める。
・不法投棄の監視の充実、河川や農地、幹線道路におけるポイ捨て対策など
④耕作放棄地を減少させる。
・地域ぐるみでの共同活動、集落営農組織の法人化、新規就農者への支援など
⑤身近な緑化を推進する。
・地域住民による管理の促進、街路樹の設置、市民による緑化活動の推進など
⑥環境保全に関する市民の意識の醸成を進める。
・景観基本計画並びに景観計画の策定、環境学習の実施など
⑦景観を保全する活動を推進する。
・田園、里山、農山村集落、市街地の景観保全活動、かやぶき民俗群の保全支援など

【施策コスト】(評価対象事業の合計)

	単位	H20	H21	H22	H23	H24	
決算額(計画額)	千円	530,770	548,755	508,514	339,245	280,056	
財源内訳	使用料・手数料	千円	4,642	8,871	5,295	4,413	3,838
	国・府支出金	千円	171,468	235,128	236,499	157,459	114,173
	地方債	千円	232,200	173,200	147,300	39,800	33,400
	一般財源	千円	122,460	131,556	119,420	137,573	128,645
職員従事人数	人・年	10.22	10.66				
人件費	千円	68,914	68,655				
事業費総額	千円	599,684	617,410				

【施策目標の達成に貢献度の高い事業】

全 44 事業 単位:千円

事業名(細事業名)	決算額	うち一般財源	
		うち一般財源	うち人件費
緑の公共事業(緑の公共事業)	21,191	4,057	695
森林整備地域活動支援交付金交付事業(森林整備地域活動支援交付金交付事業)	44,065	12,378	1,463
水産振興事業(水産振興事業)	2,617	2,617	752
農地・水・環境保全向上対策事業(農地・水・環境保全向上対策事業)	27,020	24,601	2,000
森林整備事業(良い森づくり事業)	22,870	22,870	1,246
河川維持事業(河川維持事業)	24,350	11,731	8,469
不法投棄監視・処理事業(不法投棄監視・処理事業)	4,371	2,866	2,006

【前年度の評価】(要約)

【総合評価】
①目標の達成状況
後継者不足、高齢化に伴い、農林水産資源の維持管理が危ぶまれる状況である。特に米価の下落、木材価格の低迷で生産意欲が失われ、耕作放棄地問題、山林の放置が深刻な問題である。
②目標値や施策の考え方の見直し
地域ぐるみの共同活動、集落営農での取り組みの強化。

【改善の方向性】
①今後の方向性
農地においては、農業振興地域の見直しにより、適切な運用・管理に努める。
林業においては間伐の促進を図り、森林保全活動も推進する。
環境美化においては市民の協力を得て、不法投棄の監視や、定期的な見回りを行う。
②各事業の対応
農業振興地域整備計画の樹立。
緑の公共事業等の間伐推進事業の推進。
ほ場整備事業の促進、早期完成。
集落営農の組織強化、農業法人の育成。
かやぶき民家保全支援。

【今年度の評価】

【総合評価】
①目標の達成状況
基幹産業である農業については依然として、高齢化等による農業後継者不足の状況は変わらず、米価低迷により厳しい状況に変わりはない。
農地の公益的な機能を守るため、集落営農等組織の立ち上げ、農業機械の共同化に取り組み、国・府の事業を利用しながら導入を図ることが出来た。
林業においても木材価格の低迷により農業と同じ状態におかれている。
その中、各町ごとの森林組合とも連携しながら、森林適正整備のための諸事業を展開することが出来た。
②目標値や施策の考え方の見直し
京都議定書に示された、CO2削減量6%のうち、3.8%分については、整備された森林で吸収するものとされており、5ヵ年で全国330万haの間伐が必要とされている。まだまだ目標達成には程遠く間伐推進を図ると共に、国産材の利用を促進し、価格の引き上げにより、森林所有者の意欲を引き出す施策が必要である。

【改善の方向性】
①今後の方向性
農地、林野、河川には引き続き、国土保全の公益的機能を確保するため適正な管理のため施策を展開していく。
水質改善に関する調査を引き続き実施する。
②各事業の対応
農業振興地域整備計画の樹立
緑の公共事業等の間伐推進事業の推進
ほ場整備事業の促進
集落営農の強化、農業法人の育成
かやぶき民家群の保全対策

【評価を受けて取り組んだこと】

農地については多面的・公益的な機能を認識し、自給率向上のためにも、優良農地を引き続き振興地域として位置づけ守ることが重要である。しかしほ場によっては公共事業の開発により土地が寸断された小規模で不整形な農地や現状が非農地で農地への復元が困難なものもある。
守るべき農地とそれ以外の見直しも必要であり、農業振興地域整備計画の見直し作業を行った。
山林についても多面的・公益的な機能の確保のため引き続き、緑の公共事業をはじめとしての間伐等、森林整備を実施した。
また増え続ける有害鳥獣の被害対策を行った。
集落営農組織の強化、立ち上げ
かやぶき民家保全対策の推進
不法投棄パトロール
り溪通天湖の水質に関する検討委員会設置
景観形成検討委員会の設立

別記

目標項目(成果)	単位	H20	H21		H22	H23	H24
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
河川の水質の向上							
越方橋	ph	6.5~7.7	6.5~8.5	6.8~7.5	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5
	BOD	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7
	SS	5	4	2	4	4	4
大堰橋	ph	6.5~7.7	6.5~8.5	6.5~7.3	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5
	BOD	1.2	1.2	0.7	1.1	1.0	1.0
	SS	4	3	3	3	3	3
出合橋	ph	6.0~7.3	6.5~8.5	7.0~8.0	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5
	BOD	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5
	SS	1	1	1	1	1	1
和泉大橋	ph	6.4~7.8	6.4~7.8	6.5~7.4	6.4~7.8	6.5~8.5	6.5~8.5
	BOD	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
	SS	1	1	1	1	1	1